

12. 地域科学技術の振興

H17年度までの取組

知的クラスター創成事業

100億円

国際競争力のある技術革新のための集積の創成を目指す。18地域で実施。
中間評価の結果を補助金交付額に反映。

都市エリア産学官連携促進事業

36億円

産学官連携による個性ある地域産業の育成・発展等を目指す。31地域で実施。

H14～H16の成果

- ・産学官参加研究者 3,356人
(うち産は1,116人)
- ・特許出願件数(国内外)1,000件超
- ・事業化件数
(商品化・起業化等) 380件

※科学技術振興機構(JST)の
地域研究開発事業

重点地域研究開発推進事業

(研究成果活用プラザ) 50億円

地域結集型共同研究事業

47億円

地域研究開発促進拠点支援

事業(RSP) 3億円

第3期科学技術基本計画 に向けた施策の展開

大学等を核とした地域イノベーション・システムの構築
と豊かで活力ある地域づくり

- 地域クラスターの育成
- 関係府省の連携強化
- コーディネート機能の強化
- 地域の研究開発資源の活用

～第3期科学技術基本計画の重要政策
(科学技術・学術審議会基本計画特別
委員会中間とりまとめ)～

平成18年度予算案:24,673百万円
(平成17年度予算額:24,015百万円)
※運営費交付金中の推計額を含む

H18年度の重点施策

関係府省

総合科学技術会議

連携施策群

(地域科学技術クラスター)

- 関係府省連絡会議
- 地域ブロック協議会

知的クラスター創成事業

100億円

- ・H19以降の施策を踏まえた終了評価実施(11地域)
- ・産業クラスター計画など関係府省事業との連携強化

都市エリア産学官連携促進事業

40億円

- ・地域の自立性を高めるため、マッチングファンド方式に移行(5地域程度)(5億円)
- ・「骨太の方針2005」の『成果重視事業』として、「発展型」を実施(4地域程度)(8億円)

地域イノベーション創出総合支援事業

(JST) 72億円

地域における新事業・新産業の創出のための
取組を総合的に支援

- 研究成果活用プラザ及びサテライトによる
ワンストップサービス(サテライト設置:4+4箇所)
- コーディネータ等による技術シーズの発掘、育成、
企業化までの研究開発を切れ目なく支援
- ・シーズ・発掘試験 ・育成研究
- ・地域研究開発資源活用促進プログラム
- ・地域結集型研究開発プログラム